

現代経営学応用研究（病院の経営分析・コスト分析）

担当教員

松尾貴巳（神戸大学大学院経営学研究科教授）
新井康平（群馬大学社会情報学部准教授）

開講日時

6月5日（火）、6月19日（火）、6月26日（火）、7月3日（火）
（1コマ目 18:20-19:50 2コマ目 20:00-21:30）

教室

神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ <http://www.b.kobe-u.ac.jp/ilabo/access.html>
（梅田ゲートタワー8F：アクセス地図はホームページで確認してください）

講義に関する相談・連絡先

松尾貴巳 mats@kobe-u.ac.jp にメールで連絡してください。

授業期間中、終了後の課題（提出物）

授業期間中（課題 A）

- 提出テーマ
- 出日（期限）：6月26日（火）
- 提出方法：A4紙により講義終了後に提出（休んだ場合に限りメールでの提出可）

授業終了後（課題 B）

- 提出テーマ
(ア) 7月3日講義中に出题する分析課題
(イ) 講義内容に基づく、所属組織におけるインプリケーション（A4 WORD/PDF ファイル、字数は2,000～3,000字）
- 出日（期限）：7月31日（火）
- 提出方法：

成績評価方法と基準

- ① 授業への参加度合い（ディスカッション、発表）（20点）：欠席回数に応じて減点し、授業中の議論等における貢献度に応じて加点します。
- ② 授業期間中・授業期間終了後の提出物・課題（80点）：提出されたレポートのレベル（質・量）に応じて評価をつけます。2つの課題（A、B）のうちいずれかの課題未提出の場合は0点とします。

講義の資料・準備

- ① 神戸大学LMS学修システム（BEEF）でダウンロードするもの（講義スライド）
5月28日以降6/5講義分がダウンロード可能。
- ② 書店等で購入するもの（参考文献等）

参考文献

- ① 小沢 浩 『詳解コストマネジメント』 同文館出版（2011年） ISBN-10: 4495196014
- ② 木村 憲洋 『1からの病院経営』 碩学舎（2013年） 978-4502470707
より深く勉強したい人向け
- ③ 荒井耕(2009)『病院原価計算：医療制度適応への経営変革』中央経済社。ISBN-10: 4502290602
- ④ 藤森研司ほか編著(2007)『病院経営新時代のDPC対応収支分析マニュアル』じほう。ISBN-10: 4840737398
- ⑤ 秦 温信 ほか編著(2007)『ベンチマーク分析によるDPC対応原価計算と標準治療計画の評価』じほう。ISBN-10: 4840737541

授業テーマと目標

1990年代以降、医療を取り巻く環境は大きく変化し、病院は、サービスの質向上・維持をはかりながら医療制度改革による効率化への対応が重要な経営課題となりました。とりわけ、規模の大きな病院では、サービスの質を保ちながら健全な経営を行うことが重要ですが、(社)全国公私病院連盟・(社)日本病院会の調査では、過去10年間において(平成20～29年)、黒字病院は全体の2割～4割の水準であり、平成29年の調査では、私的病院の約4割(37.3%)、自治体病院の約9割(88.3%)は自治体からの補助金等がなければ赤字経営となっています。病院経営の健全化は、私たちの社会に対する不安を払拭するためにも必要であり、生命に関わるだけでなく、国、地方の財政に与える影響も大きいという点で国民の関心事だといえます。

医療の質と効率性の両立をはかるという課題を背景に、伝統的に営利企業において導入されてきた経営管理手法が病院にも取り入れられるようになってきました。ただし、病院組織は、医療サービスの公共性や医療組織に従事する職員の専門性といったサービス、組織の固有の特性が経営管理システムの有効性に及ぼす影響について、配慮する必要があり、医療サービスの公共性を考慮すると、経営管理システムの導入が医療組織の経営管理目的にとって逆機能を及ぼすことについてとくに慎重に検討する必要があります。

本授業では、医療組織が直面する諸問題について、医療組織固有の特徴を理解したうえで、医療組織におけるコストマネジメントの果たす役割、意義について検討します。また、医療マネジメントについての知識を習得するだけにとどまらず、医療マネジメントを通じて、公益性と利潤追求、規制と企業経営、測定と評価、プロフェッショナル組織のマネジメントなどの経営の一般問題を解決に導く方策もあわせて検討する予定です。

講義は、医療マネジメントに関する事前知識はなくても受講できるように設計されており、次の点に焦点を当てます。

- ① 病院会計、原価計算の特徴を理解する。
- ② 病院の経営分析、コストマネジメントに関する概念、計算方法について体系的な知識を修得する。
- ③ ①および②を身近な状況に応用する力を養う。

■第1週：6月5日（火）非営利組織と病院経営

1) 病院経営を経営学の視点で考える

経営学的視点で考えることの意味、基本的な分析視点

2) 病院経営とコストマネジメント

- 組織、ガバナンス、経営管理に関して民間の営利企業とどのような点で基本的に異なっているのか
- 病院経営におけるコストマネジメントの意義・背景

3) 病院会計の特徴と財務諸表の読み方

- 病院事業会計の特徴(病院会計の特徴的な事務、勘定科目、仕訳など、営利企業との違い)
- 財務諸表の読み方(経営の健全性、収益性などの評価においてどの勘定科目、分析指標がポイントになるのか、財務諸表から見えること、財務諸表だけではわからない重要なことは何か)
- 業績の良い病院と悪い病院の財務指標の特徴

4) 財務諸表分析（ワーク）

- 財務諸表を使った財務分析ワーク

5) 課題（A） ケース（那覇市立病院）の解説（15M）

- 那覇市立病院はなぜ独法化する必要があったかについて、ケースを通じて理解する。
- 独法化直前3年間(平成17年度～19年度)の財務状況と最近3年間(平成26年度～28年度)を比較

受講上の注意・課題

課題(A)を第2週(6月19日)までに行い、6月19日にレポートして提出すること

■第2週：6月19日（火）病院原価管理のコンセプト

1) 那覇市立病院の事例の検討

2) 原価管理のコンセプト

- 固定費、間接費等の原価概念の説明

3) 直課方式の原価計算事例（胃がん検診）

4) 病院原価管理と配賦の必要性

- 原価管理と配賦の必要性
- 配賦方法の手続き
- ABC（活動基準原価計算）の意義（30M）ディスカッション

受講上の注意・課題

計算事例について復習を行うこと

■第3週：6月26日（火）コストビヘイビアと差額原価

1) 損益分岐点分析・差額原価概念

- 損益分岐点分析の考え方
- 意思決定と差額原価の考え方

2) 病院における計算事例

- 計算演習
- 解説

受講上の注意・課題

計算事例について復習を行うこと

■第4週：7月3日（火）病院経営のための統計的経営分析

1) 統計的経営分析の説明

2) 計算演習

受講上の注意・課題

- ① ノート PC を持参すること
- ② 授業終了後（課題 B）について、7月31日（火）までにメールで提出すること
- ③ 提出テーマ
(ア) 7月3日講義中に出題する分析課題
(イ) 講義内容に基づく、所属組織におけるインプリケーション（A4 WORD/PDF ファイル、字数は2,000～3,000字）
- ④ 提出方法：電子メールにより WORD もしくは PDF のファイル形式で松尾宛（mats@kobe-u.ac.jp）提出